

# 授業に関するアンケート（2018 年度秋学期・学部） 実施結果に対する授業評価報告

- ・授業アンケート結果の数値や「教員コメント」に基づいて、学科等の総括を概ね 4 ページ以内でご記入ください。
- ・原則として、すべての項目にご記入ください。
- ・可能な限り、箇条書きでご記入ください。

|        |
|--------|
| 学科等    |
| 国際教養学科 |

## （1）授業実施に関する質問結果について

|                                                                               |
|-------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 授業内容はシラバスに合っていましたか。                                                        |
| 概ね合致していたものと思う。（全学科中最高値）                                                       |
| 2. 受講生の理解度を確かめながら授業が進められていましたか。                                               |
| 大きな問題は見られない。（全学科中最高値）                                                         |
| 3. 授業レベルは自分に合っていましたか。                                                         |
| いわゆるスキル科目については習熟度クラスが功を奏しているところもあると思われ、これも「スポーツ・健康科目」に次ぐ 2 番目に高い水準にある。        |
| 4. 教員からの一方向的な授業ではなく、教員と受講生又は受講生同士の双方向性に工夫がされていましたか。                           |
| コミュニケーションを重視した <b>interactive</b> な授業形態を心がけている点が功を奏し、これも高水準にある。（全学科中最高値）      |
| 5. 提出物に対するフィードバック（採点、添削、マナビーでのコメント、チェック後の返却など）は効果的に行われていましたか。                 |
| 同上（全学科中最高値）                                                                   |
| 6. 言葉による説明だけではなく、受講生の理解を促進する工夫がなされていましたか。                                     |
| <b>Interactive</b> な形態で、一人ひとりの学生たちの理解度を確認しながら授業運営が効果的に行われているものと思われる。（全学科中最高値） |
| 7. 自主学習を促す工夫がなされていましたか。                                                       |
| 同上（全学科中最高値）                                                                   |
| 8. 工夫してほしいと思ったことを選んでください（複数選択可、なしも可）。                                         |
| 個別にさらなる工夫の必要な点は様々あるようで各々検討を進めたい。多くはパワーポイント、マナビー、一部配付資料といったところの指摘であった。         |

## （2）この授業の学修行動に関する質問結果について

|                                                                                                   |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 9. この授業の予習、復習、自主学習に 1 週当たり平均どれくらいの時間をかけましたか。                                                      |
| ※学内外を問わず授業に間接的に関係のある学習を含む。ただし、授業時間は除く。                                                            |
| 数値で言えば上から 3 番目とこれも高い値ではあるが、まだまだ学習意欲を促す工夫が必要であると思われる。                                              |
| 10. あなたはこの授業に関して積極的に意見を述べたり質問をしたりしましたか。                                                           |
| 留学を 4 年のうちの中間の据えるというカリキュラムの特性から、常に問いかけ、考えを言葉にするということを授業内で学生たちに促すという授業形態が成果を上げているものと思われる。（全学科中最高値） |
| 11. あなたはこの授業の分野又は関連分野の学習を更に深めたいですか。                                                               |

|                                                   |
|---------------------------------------------------|
| これも前後に拘わらず留学を念頭に置いた学習姿勢が視野を広げているものと思われる。(全学科中最高値) |
| 12. あなたがこの授業を履修した理由は何ですか (複数選択可)。                 |
| 概ね必修であるか授業内容を見て選択ということかと思う。                       |

(3) この授業の到達目標に関する質問結果について

|                                                                                                                  |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 13. 到達目標を達成しやすいように指導がなされていましたか。                                                                                  |
| 一人ひとりの学生と時間をかけて向き合うという先生方の努力が評価されていると考える。(全学科中最高値)                                                               |
| 14. あなたは到達目標を達成できたと思いますか。                                                                                        |
| 「スポーツ・健康科目」には及ばなかったが、これに次ぐ高い水準の評価である。上記同様、先生方の努力の賜であると思う。                                                        |
| 15. DWCLA10 の内、この授業の履修を通してその獲得や向上に役立ったと感じられるものをすべて選んでください (複数選択可、なしも可)。                                          |
| 一言で言えば科目によってまちまちである。これは科目ごとに性格が異なるため自ずとそうなるということであろう。ただ、他学科と見比べた場合、各項目の評価が全般に低い点などは、これに対する意識付けの方法など今後検討すべき課題である。 |

(4) その他

|                                                                                                                                                                                         |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 嘱託講師を含めても 23 名という他と比べれば極端に少ない人数の教員が密に連携を取りながら国際教養学科の教育を行って来た成果が現れていると考える。その真摯な姿勢は、その全員が対象科目すべてで授業評価を実施している点からも明らかであろう。無論、ほとんどの項目において全学科中最高値の評価を受けているとはいえ、さらに高みを目指すための工夫は継続していかなければならない。 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

教育開発支援センター